

NEWS

平成19年度日本テーブルデザイナー協会総会が開催されました。
NTD東京支部4月より発足しました。
5/23～27日までテーブルコーディネイト展を恵比寿麦酒記念館にて開催されました。
7/7・8(土・日)第2回研修会が行われました。
次回理事会は、9/16(日)11:00～アトリルレーヴにて開催予定。
開錠番号は8750E

平成19年度総会の報告

去る5月20日(日)平成19年度総会が開催されました。
本年度役員は以下のとおり
会長 松尾洋子
理事長 丹羽稔子 副理事長 百田真理子
会計 服部寿子 秋山京美
事務局 斉藤美由紀 竹村麻帆 広報 宮村伸江
東京支部 支部長 斉藤典子 副支部長 森岡由
会計 田村友子 書記 山本ゆき子

松尾先生のご挨拶

皆様いかがお過ごしでしょうか？
協会活動も卒業生を中心に活動し始め、早3年目になります。
卒業生、在校生の親睦や研修の目的で始めましたが、成果はあった様に思います。
昨年は、ノリタケの森へ洋食器の製作過程を勉強に行きました。
実際に目で見る事は「百聞は一見にしかず」です。
是非、今年も協会の仲間と色々知識の向上をはかりましょう。

斉藤東京支部長

今年から発足した事もあり、途惑う事も多いですが
松尾先生初め、会員の皆様と力を合わせて活動していきたい
と思っております。

丹羽理事長

準備段階から3年目を向え、協会の活動も徐々に地に足が
着いたものになってきたように思います。今年度は飛躍の
年になればと思っています。

漆展報告



5月23日～27日、恵比寿麦酒記念館に於いて「日本の暦24節気72候から」をテーマに
テーブルコーディネイト展が行なわれました。今回は輪島漆器大向高洲堂さんとのコラボレ
ーションで 高価な漆器をお借りして緊張しながらのセッティングでしたが、みなさん上手に
日本の伝統24節気を表現して素敵なテーブルを作っていました。26日と27日には特別企画

として“蒔絵体験”や“松尾先生と漆芸家とのパネルディスカッション”もあり 多くの方々に参
加して頂き漆を身近に感じてもらったのでは ないかと思えます。漆の良さ等を再認識した企
画展でした。



会員紹介 富野純子さん <トミノジュンコ 東京都>

はじめまして。富野純子です。現在、研究科に在籍しております。一
年前からウェッジウッドジャパンに勤めました。毎日、大好きなテー
ブルウェアを扱う仕事。夢と希望を抱いて(?)働き始めましたが現
実は厳しい。休日に体力の余力が残せず、研究科はおろか、松尾
先生にもすっかりご無沙汰している状態です。でも、テーブルコー
ディネートの提案やディスプレイがお客様に喜んでいただいた時の嬉し
さは格別です。もう少し仕事になれたらブラッシュアップの為に勉強
を再開して、協会の活動に参加するのが当面の目標です。

会員紹介 原寿美江さん <ハラスミエ 広島県>

この春主人の転勤で広島に引越、ようやく落ち着いたところ
です。ただいま充電中。ル・レーヴでは、大阪校・東京校とで講
師をさせていただきたくさんの出逢いと思ひ出も今心に一杯で
す！
皆様ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

第2回 研修会の報告

去る7月7・8日(土・日)NTD 第2回研修会は、「山中産地
見学」に1泊2日で行って来ました。梅雨の時期でお天気が心配
でしたが、2日間ともよい天気にお恵まれました。松尾先生を
はじめ、9名(内3名は日帰り)の参加者があり、遠くは広島か
らもご参加されました。

7月7日(土)晴れ七夕

10時加賀温泉駅集合。今回は松尾先生のご紹介により石小
漆器の石小さんがワゴン車でお迎えしていただき、まずは蒔絵
体験に

<蒔絵体験>

うるしの器あさだに到着。ここは、漆器のギャラリー。高価な漆器か
らカジュアルの漆器までたくさんの漆器があり、その中から自分の
気に入りの漆器を選び、蒔絵の体験。
器を選ぶのも大騒ぎ、蒔絵の描く難しさを実感しました。

昼食は、こおろぎ橋畔料亭 明月楼。自然の中の川のせせらぎの
音を聞きながら、「名月御膳」お造りや焼き物、炊き合わせなど、能
登半島の海が近いのかとても美味しく頂きました。

漆器工程見学

<木地輪轆挽き見学>

昼食後、まずは木地師のなかじまさんへ見学に行きました。主に
檜、杉を原木とし、千筋・稲穂筋や象嵌などの加飾挽を生かした拭
漆製品には高度な技術にびっくりしました。

<下地工程塗り>

麻などの布を木地に貼り、下地を作っていきます。ほこり一つない部
屋で漆の下地塗りを時間をかけて塗り上げるそうです。

<加飾>

最終工程の加飾の中山漆芸さんへ。ここは春日大社調度調進所
にもなっていて、海外でも活躍されている中山幸彦さんから直接話
しを伺うことが出来とても有意義でした。

<伝統産業会館>

ここでは漆器工程のすべてのお椀がならんでいて今まで見た工程
が解りやすくみることが出来ました。
日帰り組みとは加賀温泉駅で別れ、泊まり組みは「吉祥やまなか」
で陶版浴や名湯山中温泉を楽しみました。
夜中に起きた出来事は、また別の機会に...ご報告

7月8日(日)晴れ

<2日目>

漆器工房、組合直販所めぐり、金沢の近江町市場で日本海
の海鮮丼を堪能して、その後21世紀美術館の見学。
この日は美術鑑賞、観光を主にした1日でした。



蒔絵に悪戦苦闘・・・？

季節感ゆたかで美味し
かった「名月御前」見事な職人技で薄いお椀
が出来上がり！

木地の乾燥



漆の木

塗師山中さんから説明を熱心に
聞き入るみなさん。お世話になっ
た石小さん(左から2番目)

松尾先生のコメント

参加された皆様お疲れ様でした。
楽しい研修旅行でしたね。
日帰り組みと宿泊組みに分かれてましたが、色々と、日頃
見せて頂けない漆器の工程や、詳しい説明を聞いた事な
ど、日帰り組みも満足して頂いた様です。
宿泊組みは夜のお食事、温泉などなど楽しいこと満載
で、思い出作りも出来ました。
今回参加出来なかった方、次回は是非一緒に勉強しま
しょう。

<編集後記>

山中漆器研修会に参加して

第2回目の研修会。
今回は時間がない中での、初めての泊まりの研修で
したが、石小漆器さんのご尽力により、各専門家からの説
明や実演を見ることができ、とても有意義な時間を過
すことが出来ました。漆器のすばらしさと伝統工芸の大
切さを理解し、テーブルデザイナーとして考えさせられ
た研修になりました。

また、会員相互の親睦、情報交換の場としてよりいっ
そうNTDの存在を価値のあるものになるよう、皆様
のご意見をお待ちしております。

NTD事務局広報より